

## 結果の要約

### 1 職業

兵庫県の15歳以上就業者数(2,553,965人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が716,375人(15歳以上就業者数の28.0%)と最も多く、次いで「事務従事者」が509,795人(同20.0%)、「販売従事者」が396,020人(同15.5%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が31,642人(14.1%)増、「保安職業従事者」が1,712人(4.3%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が17,561人(21.5%)減、「運輸・通信従事者」が6,926人(8.0%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が36.9%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.2%、「販売・サービス関係職業」が27.2%、「農林漁業関係職業」が2.5%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.0ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.0ポイント、0.4ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.7時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.8時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.9時間、「管理的職業従事者」が44.3時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.4時間減、「販売従事者」が1.6時間減となっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が532,858組(夫婦数1,384,198組の38.5%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が495,566組(同35.8%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が56,969組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.7%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が48,749組(同9.1%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は599,419世帯(住宅に住む一般世帯2,091,341世帯の28.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は1,491,922世帯(同71.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が497,388世帯(同23.8%)、「女性のみ」の世帯が350,773世帯(同16.8%)、「幼児と女性のみ」の世帯が139,189世帯(同6.7%)となっている。

図1 兵庫県内の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

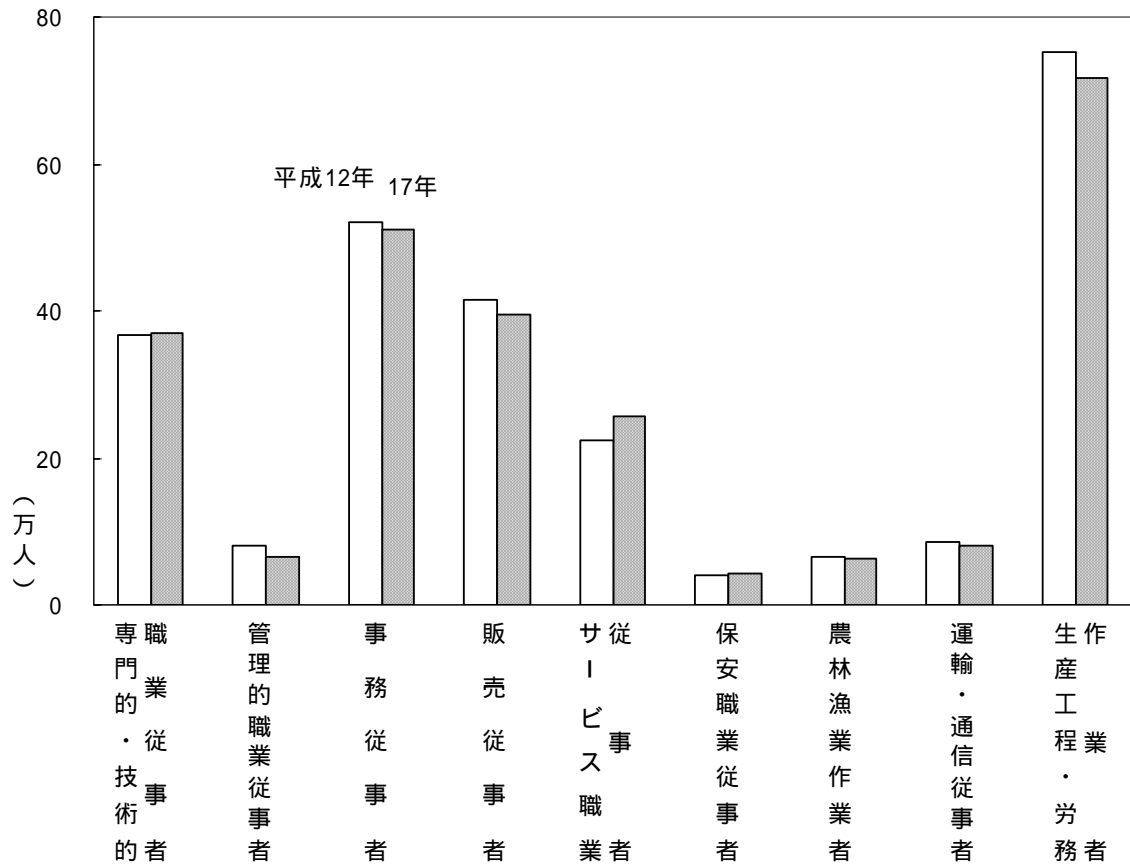


図2 兵庫県内の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

